

中小企業の経営改善および地域活性化のための取組状況

■ 中小企業の経営支援に関する取組方針

ほくほくフィナンシャルグループは、「地域共栄」の精神のもと、地域の皆さまのニーズにお応えし、皆さまと共に歩み、成長・発展することを経営理念としております。

お客さまの経営課題に共に取り組むため、知識・ノウハウを蓄積し、的確なアドバイスやソリューション提案に努めてまいります。また、グループのネットワークを活かし、質の高いサービスを提供するとともに、地域金融の担い手として円滑な金融支援に努めてまいります。

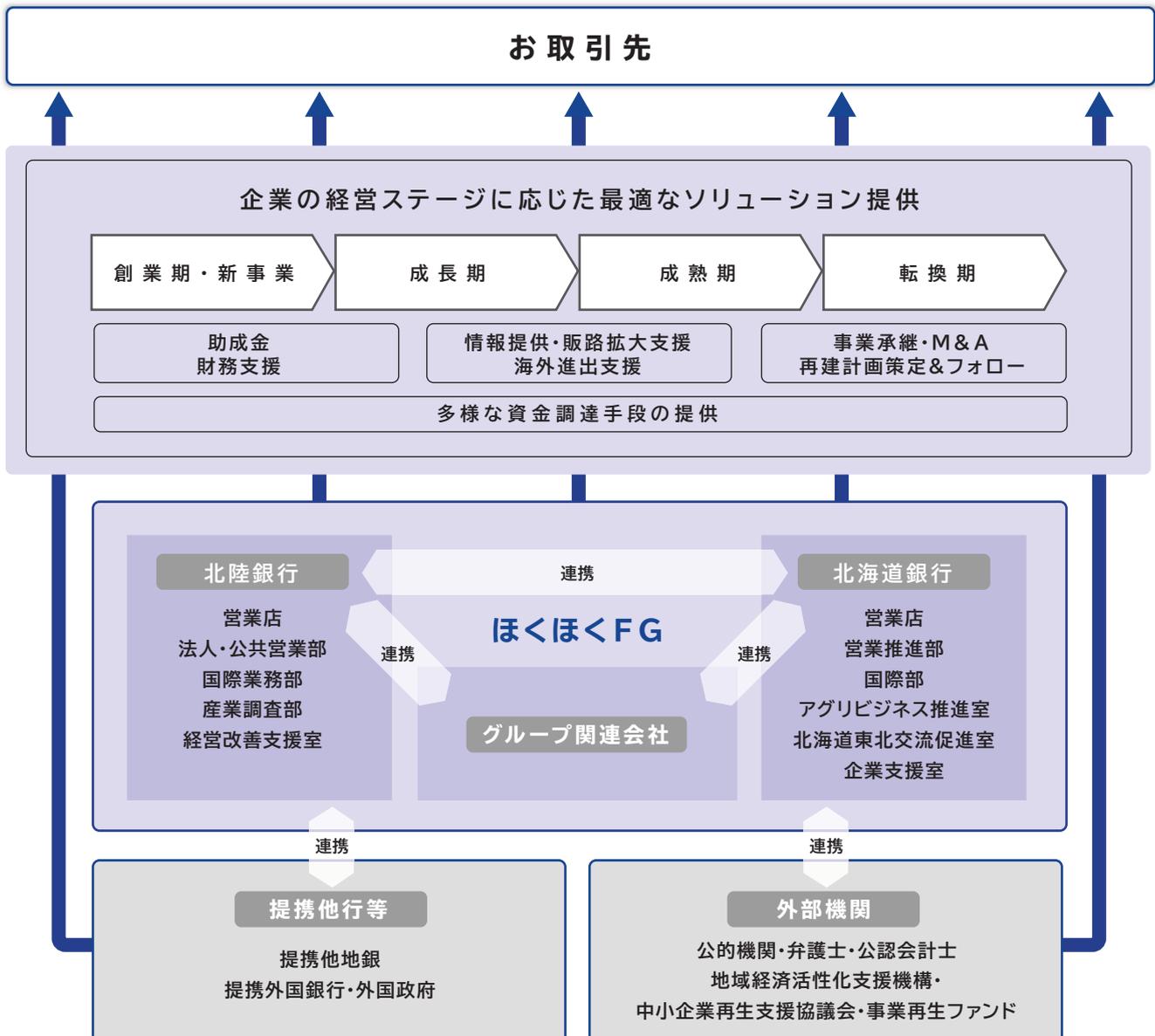
お客さまの経営支援を通じて地域活性化に貢献し、地域から親しまれ頼りにされる金融グループをめざしてまいります。

■ 中小企業の経営支援に関する態勢整備

ほくほくフィナンシャルグループでは、「経営基盤の強化」の取り組みの1つとして、中小企業の経営支援に取り組んでいます。経営改善支援取組先の選定、事業計画の策定と実績のフォローを北陸銀行経営改善支援室、北海道銀行企業支援室が担っています。また、営業力の向上にむけたお取引先への情報提供と販路拡大、海外進出支援に関するサポートを北陸銀行法人・公共営業部、国際業務部、産業調査部および北海道銀行営業推進部、国際部、北海道東北交流促進室、アグリビジネス推進室が担い、事業承継、M&Aについて

は、北陸銀行法人・公共営業部、北海道銀行営業推進部がそれぞれ外部専門機関と連携し、営業店とともにコンサルティングを行っています。また、各担当部・室では、お取引先に対する目利き力、コンサルティング力を持つ人財の養成に努めています。

経営の改善のための取り組みに関する計画・実績・進捗状況等については、各担当部・室より常務会・経営会議や取締役会に報告し、経営の指示のもとに諸施策等について改善やさらなる充実を図る態勢としています。



■ 創業・新規事業開拓支援の取組状況（平成26年度上半期実績）

当社グループでは、創業や新規事業の開拓を考えるお取引先に対し、制度資金やベンチャー向け投資ファンドなどの資金調達面からの支援および産学連携を通じたニーズの発掘、成長分野への情報提供を行っています。

<北陸銀行>

- お取引先が新規事業等に乗り出す際に役立つ「ものづくり補助金」などの公的助成制度の情報提供から活用提案、申請書類作成までを積極的に支援。
- 「産学連携ヒアリングシート」を活用して、お取引先のビジネスニーズと大学等が持つ技術シーズを結び付け、新事業開拓に向けた研究開発を一步先に進めるためのサポートを実施。
- 日本政策金融公庫富山支店、金沢支店、福井支店と「業務連携・協力に関する覚書」を締結し、創業支援やベンチャー企業支援、農工商連携、経営革新等の認定制度活用に向けた支援体制を強化。
- 再生可能エネルギーや医療介護等の成長期待分野に進出するお取引先の事業成功確度を高めるため、事業計画・取組計画の検証や策定をサポート。

<北海道銀行>

- ベンチャー向け投資ファンド「道銀どさんこファンド」、「札幌元気チャレンジファンド」などを活用した創業・新事業への支援。
- 「道銀アグリビジネスファンド」を活用し、農業を核とした6次産業化による新事業の開拓を支援。
- 経済産業省が実施している「創業補助金（地域需要創造型等起業・創業促進事業）」等について、事業計画策定や書類作成などを支援。
- お取引先が農業、医療・福祉、再生可能エネルギーなどの新事業を展開する際に、専担者によるサポートや外部機関への取り次ぎなどを実施。

■ 成長支援の取組状況(販路拡大・海外進出等)（平成26年度上半期実績）

広域店舗網や提携外部機関とのネットワークを活用した商談会やセミナーの開催等を通して、お取引先の販路開拓や工場進出といった事業の拡大を支援しています。商談会では、テーマの絞り込みや事前相談などにより、お取引先にとってより有効なビジネスマッチングの機会となるよう工夫した取り組みを行っています。

また、海外行政機関や金融機関等との業務提携、海外駐在員事務所による情報提供を通じて、お取引先の海外進出支援や現地における継続的なビジネス展開の支援に努めています。

6次産業化・販路拡大支援

「北海道・東北ビジネスマッチング～6次産業化商談会～」を開催（北海道銀行、北陸銀行）

「東北・北海道地区交流促進地銀連携」のリレーションを活かし、東北各県と北海道が有する地域特産品の付加価値を高めることや6次産業化を展望したビジネスマッチングを支援する目的で本商談会を開催しました。特に、昨年度開催した「東北・北海道6次産業化ビジネスフォーラム」に参加いただいたお取引先に対して商談成約や新事業展開に向けた個別フォローを行いました。

出展企業数	バイヤー数	商談件数
25社	12社	51件

「うまいもんプロデューサー」の取り扱いを開始（北海道銀行）

地方特産品開発支援サービス「うまいもんプロデューサー」の取り扱いを道内で初めて開始しました。ニフティ(株)のコミュニケーションノウハウと(株)電通のマーケティングノウハウを活用し、商品開発や6次産業化に課題を抱えるお取引先とインターネットユーザーを結び付け、意見やアイデアなどをもらい、消費者目線の地域特産品を作り上げる本サービスを通じて食品関連産業や6次産業化に取り組んでいるお取引先のサポートを強化していきます。

「北海道の『食』特別商談会 in 函館」を開催（北海道銀行、北陸銀行）

今回で7回目となる本商談会は、イカやコンブ、タコ、サケなどの地元産の海産物を素材とした水産加工食品の販路拡大を支援するため、道外の有カスーパーなどのバイヤーを函館に招いて開催しました。道外バイヤーの北海道産の商品に対する関心は高く、今後も商談会の開催を通じて地域の産業振興に努めていきます。

出展企業数	バイヤー数	商談件数
14社	9社	94件

「ビジネス・サミット2014～東海・北陸『うまいもの』大商談会～」を開催（北陸銀行）

新たな「仕入・販売」の機会を創出し、東海・北陸地方の地域経済活性化を図るため、地域金融機関および地方公共団体が協力しビジネス・サミットを開催しました。特徴・特色ある「うまいもの(食品)」を取り扱う出展企業がバイヤーに自社商品をPRしました。また、会場内の特設キッチンでは出展企業の商材を使った料理の実演・試食も行われました。

出展企業数	バイヤー数	商談件数
117社	90社	約1,000件

海外進出支援

「道銀ロシア極東ビジネス交流会 in ウラジオストク」を開催（北海道銀行）

6月5日～6日、ウラジオストク駐在員事務所開設を記念して、道内企業の極東ロシアへのビジネス拡大を目的とした交流会を行いました。

現地の日系企業およびロシア企業を視察したほか、参加企業によるプレゼンテーションや個別企業交流を通して北海道の魅力アピールしました。交流会後も日露双方の企業からビジネスに関する相談が多く寄せられ、有意義なイベントとなりました。

参加企業数 …… 33社・団体(北陸銀行のお取引先1社を含む)

「北海道国際ビジネス協力員」の就任（北陸銀行）

ロンドン駐在員事務所長およびインド・ムンバイにトレイニーとして派遣中の行員が北海道知事の委嘱を受け、「北海道国際ビジネス協力員」に就任しました。すでに、同協力員の委嘱を受けているシンガポール駐在員事務所長と合わせて3人となります。

今回の就任は、「北海道との連携協定」に基づくもので、各国を中心とする世界経済動向や企業等の情報を収集し、道内企業の経済交流・貿易拡大等を促進していきます。

「ほくりく長城会セミナー」を開催（北陸銀行）

中国ビジネスを展開中もしくは検討中のお取引先に向けた「ほくりく長城会セミナー」を開催しました。業務提携を結んでいる中国江蘇省無錫市招商局の副局長を講師に迎え、無錫市の産業や経済についてお話をいただきました。セミナー後の交流会では、参加企業が意見交換を行い、積極的な交流が行われました。

「大連・地方銀行合同企業交流会2014」を開催（北陸銀行、北海道銀行）

6月13日、大連、瀋陽、上海に拠点を持つ地方銀行(全9行)が大連市にて共同で交流会を開催しました。中国東北地方に進出している各行のお取引先を対象に、ビジネス情報と相互交流の場を提供する目的でセミナーと企業交流会の2部構成で行いました。企業交流会ではセミナー講師を交え、活発な意見交換が実現しました。

また、下記の中国・ASEANビジネスを支援するセミナーや商談会の開催等を行いました。

中国・ASEANビジネスを支援するセミナーおよび商談会

6月 ● ものづくり商談会@バンコク2014（北陸銀行）

7月 ● 中国主要都市ビジネスセミナー（北海道銀行）

9月 ● 日中ものづくり商談会@上海2014（北陸銀行）

● Japanese Food Trade Fair in Singapore 2014（北陸銀行）

● 青島・地方銀行合同企業交流会2014（北陸銀行）

海外駐在員事務所の相互活用

北陸銀行、北海道銀行の9つの海外駐在員事務所や両行が派遣している海外トレイニーなどを相互活用することで、グループとしてのメリットを最大限に活かし、お取引先の海外進出ニーズにお応えしています。

■ 成長支援の取組状況(その他)（平成26年度上半期実績）

「外国人技能実習制度」セミナーを開催（北海道銀行）

極東アジアあるいは東南アジアからの実習生を受け入れることは、単なる労働力不足の解消に止まらず、人材育成を通じた国際貢献・国際交流といった面においても大きな可能性を有しています。本セミナーでは、駐日ベトナム社会主義共和国大使館や実際に受け入れをされている道内企業から講師を招き、外国人技能実習制度の概要等について解説いただきました。

参加者数 …… 71名

提案力を鍛える研修等を実施（北陸銀行、北海道銀行）

お取引先の業界特性についての知識、新制度や取扱商品の知識を深め、よりニーズに沿った提案や経営改善のアドバイスなどができるように研修等を開催しています。行員のスキルアップがお取引先のプラスになるよう、今後も努めていきます。

■ 経営改善・事業再生等の取組状況（平成26年度上半期実績）

専任部署や中小企業再生支援協議会などの外部機関を活用したコンサルティングによる経営改善の計画策定やその後の各種モニタリングまでフォローを行っています。

- <北陸銀行>
- 中小企業再生支援協議会や小規模企業経営革新支援協会（ASEF）などの外部機関との連携により、幅広いお取引先の経営改善支援体制を整備。
 - 北陸、北海道地区の中小企業診断（士）協会と「業務連携・協力に関する覚書」を締結し、コンサルティング機能を拡充することでサポート体制を強化。
 - 専門知識を持つ本部専任チームがお取引先を訪問することでM&Aニーズを発掘し、（株）日本M&Aセンターと連携して事業承継等に関する課題を解決。

- <北海道銀行>
- 中小企業再生支援協議会や外部機関・専門家との連携を強化し、実現性の高い改善計画策定や事業再生支援を実施。
 - 定期的なモニタリング活動を通じたお取引先の実態把握の強化と具体的な経営アドバイスの実施。
 - モノづくりコンサルティングによる製造現場改善や生産性向上を支援。

経営改善支援の取り組み実績

※正常先は除く。

	北陸銀行	北海道銀行
重点的な経営改善支援を必要とするお取引先	539先	280先
うち事業の改善が確認できたお取引先	42先	25先

■ 地域活性化に関する取組状況（平成26年度上半期実績）

<北陸銀行>

環境保全活動に取り組む企業への金融支援

独自の環境評価格付に応じて金利が優遇される商品「エコリード・マスター」を取り扱っています。燃費効率の良い車両への入れ替えなど環境に配慮した経営を行うお取引先にご利用いただきました。

大学での寄付講座を継続実施

将来の地域を担う若い世代への教育を通じて、長期的視野で地域貢献できるよう大学での寄付講座を行っています。金沢大学や富山大学で講義を実施したほか、金沢工業大学、金沢星稜大学、富山県立大学においても講義を実施しました。

若手研究者助成制度による支援

学術研究の発展に寄与するため、富山大学の将来有望な若手研究者8名に対して総額5百万円を研究費として助成しました。

「北陸新幹線開業カウントダウン電光ボード」を設置

平成27年3月の北陸新幹線開業に向け、富山駅前支店にカウントダウン電光ボードを設置しました。ボードには新幹線の新型車両「W7系」のイラストが描かれ、開業までの残り日数が表示されています。地域の皆さまと北陸新幹線開業を盛り上げていきます。

<北海道銀行>

風力発電事業への支援

平成25年3月に締結した「東北・北海道地区交流促進地銀連携」の一環として、風力発電会社が実施する風力発電事業向けプロジェクトファイナンスについて、北都銀行と協調融資を行いました。今後も、再生可能エネルギーを中心とした環境分野への取り組みを一層強化していくとともに、多様な手法を活用して地域経済の活性化に取り組んでいきます。

「北海道3自治体共催ビジネスセミナー」を開催

8月28日に栗山町、白老町、当別町と北海道銀行の共同開催により、企業誘致ビジネスセミナーを東京で開催しました。本セミナーには、産地の近くで製造する「資源地型」のニーズが高まっているなか、道産素材を求める食品関連企業を中心とした61社に参加いただきました。また、中小自治体では単独開催が難しい企業誘致セミナーを銀行からの提案により複数自治体が共同で実施できたことについて、3自治体から好評価をいただきました。

学校法人日本体育大学と包括連携協定を締結

8月25日、北海道銀行は学校法人日本体育大学、道銀地域総合研究所と包括連携協定を締結しました。本協定は学校法人日本体育大学が網走市で設立準備をしている知的障害高等支援学校での教育支援だけでなく、3者が相互に協力し、地域産業にマッチした職業訓練等の調査研究、卒業生の受け皿環境の調査や情報支援、また道内企業や医療機関との連携についての調査・研究・紹介などを行い、社会に貢献することを目的としています。